

## 【情報科】

### 1 今年度の研究について

#### (1) 教科で取り組んだ授業改善

##### ア 「主体的・対話的で深い学び」に向けての取組

I T知識やスキル中心になりがちな学習内容から、基本的なスキルの習得を前提としながらも、活用に重きを置いた活動が中心となるように工夫した。例えば、データ分析やプログラミング学習においては、自ら課題を見つけ、課題に対して調査・分析・構築を行えるように展開を変え、さらに、生徒同士で評価し合えるようにした。

##### イ I C Tを活用した授業の取組

教科「情報」では、すべての授業をコンピュータ教室で実施している。コンピュータ教室には独立したネットワークが構築してあるため、課題配付や提出はデータによる方法が大半である。また、コンピュータを使用した実習も多く実施しており、I C Tを活用した授業が基本である。

##### ウ 今年度の取組の成果と課題

新たに整備された生徒用タブレットパソコンと Microsoft アカウントを活用し、より課題に取り組みやすい環境づくりを行った。これまでコンピュータ教室でなければ行えなかった実習もタブレットパソコンがあることで家庭でも取り組むことができるようになったため、MicrosoftTeams で課題を配信し、提出させる授業展開を行うことができた。

しかし、これまで使用してきたコンピュータ教室内のネットワークとは連携がなされていないため、どちらかで実施した内容を共有することができなかった。これはセキュリティ上の問題であるため、より良い授業展開のためにも環境に合わせたネットワークの改善が必要であることがわかった。

#### (2) 観点別評価の検討について

今年度、本校の教科「情報」は旧課程のみを実施しているため、本格的な観点別評価は実施していないが、これまでの取組として、実習では毎時間振り返りを行っている。実習内容についての理解を細かく確認することで着実なステップアップを目指している。この評価を観点別評価に替えることで、次年度から実施される新課程「情報 I」の評価につなげていきたい。

### 2 来年度の研究に向けて

#### (1) 教科として取り組む授業改善について

##### ア 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて

「主体的・対話的で深い学び」について、教科「情報」では実習を通して取り組むことでより良い実現が可能だと考える。特に I C Tスキルの習得には自ら考え活用することを伴わなければならないことから、他者と共同で取り組む課題を設定し、実施後にはお互いに評価し、それぞれが改善につなげられる工夫をしたい。

イ ICTを有効に活用した授業の実現に向けて

教科「情報」ではコンピュータ教室とタブレットパソコンで実現できる授業展開がそれぞれ異なるため、両方を連携させられる環境の整備が必要だと考える。提供されたアカウントさえあれば、どの環境からでも学習に取り組めるようにしたい。

(2) 観点別評価の具体的方法、その後の指導への活用について

本校では来年度から「情報Ⅰ」がスタートするため、まずは現在実施している評価をもとに観点別評価への移行を順次行っていきたい。